

事 務 連 絡  
平成 2 9 年 7 月 3 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課 御中  
各都道府県私立学校事務主管課  
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

平成 2 9 年度環境教育リーダー研修基礎講座の実施について（依頼）

このたび、教職員、教育委員会関係者、地方公共団体の環境教育担当者等を対象とした環境教育に関する研修会を別添の実施要項により実施することになりましたのでお知らせいたします。

都道府県教育委員会におかれては域内の市区町村教育委員会及び所管の公立学校に対し、指定都市教育委員会におかれては所管の公立学校に対し、都道府県におかれては所轄の私立学校に対し、国立大学法人におかれては管下の附属学校に対し、周知方よろしく願います。



<文部科学省連絡先>

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
教育課程第二係（岡村、荻野、吉田）

TEL : 03-5253-4111（内線2613）

FAX : 03-6734-3734

E-mail: kyoiku@mext.go.jp

# 平成29年度 教職員・地域環境活動リーダーのための環境教育実践力強化研修

～持続可能な社会の担い手育成に向けた次世代の環境教育・ESDを学ぶ～

## 実施要項

(主催：環境省 協力：文部科学省)

### 【募集要項】

#### 1 研修の趣旨

環境教育の歴史は古く、国際社会においてその目的等が整理されたのは、1977年のトリビシ宣言であり、今年で40年目の節目を迎えます。我が国の環境教育は、公害教育や自然保護教育に端を発し、2006年の教育基本法改正により、教育の目標の一つとして「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと」が明記され、2011年の環境教育推進法改正（現：環境教育等促進法）により、環境教育は、持続可能な社会の構築を目指して、家庭、学校、職場、地域のあらゆる場において「未来を創る力」「環境保全のための力」を育むことがその役割であると整理されています。

今日の環境問題は、気候変動、生物多様性の保全など、その発生機序が複雑化し、解決策も一様ではありません。環境教育の実践においても、環境問題を人口・貧困・経済・科学技術・生産・消費・健康・福祉などとのつながりの中で捉えるとともに、「持続可能な開発のための教育(ESD)」や「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連を意識しつつ、国民一人ひとりが持続可能な社会の担い手となるよう、新学習指導要領で示される「主体的・対話的で深い学び」を実践していく必要があります。

本研修は、こうした時代の変化を踏まえつつ、環境教育・学習を実践する教員、行政、企業、NPO関係者等を対象として、次世代の環境教育を実践する力を養うことを目的とするものです。

#### 2 研修の内容

環境教育は、発達段階に応じて、学校のみならず、家庭、職場、地域といったあらゆる場で実践されるものです。本年度は、以下2つのコースを設けました。

##### ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース

学校現場では、「持続可能な社会の構築」に向けた様々な教育が実践されており、環境教育とは言わずとも、その目的に「環境の保全」という視点が含まれているものが多くあります。

このコースでは、ESD、SDGs、新学習指導要領など最新のトピックとの関連を踏まえて、環境教育の考え方を捉え直し、学校現場でより効果的・効率的に子ども達の「生きる力」を育むカリキュラムをデザインするための実践的なノウハウを学びます。

ESDは、環境教育を土台として発展してきた経緯があり、育むべき資質・能力は共通してい

ます。環境教育やESDには、理科、社会、総合的な学習の時間で行うというイメージがありますが、国語、美術、音楽といった科目にもその要素が盛り込まれていますし、教育課程全体での取組が重要となります。現在、学校現場で環境教育に取り組まれている教員の方のみならず、人権教育、消費者教育、国際理解教育、キャリア教育、防災教育、森林教育、海洋教育など、「持続可能な社会の担い手育成」という観点からのカリキュラムづくりに関心のある教員の方のご参加を歓迎します。

なお、教員以外の方の参加も可能ですが、学校のカリキュラムにどう落とし込んでいくかという具体的な演習を行うため、参加動機・実務経験等によってはお断りをさせていただきます。その点、ご了承ください。

## ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース

環境教育を「環境問題に関する知識を理解させること」「生き物とふれあうこと」と認識している方も多いですが、持続可能な社会の構築に向け、そこで得た知識や体験を「社会づくり」という大きな一步に繋げるためには「場づくり」が重要となります。

このコースでは、科学的な知見を基に、大人や子どもの主体的な交流や学習を促す体験の場づくりに必要となる理論的な基礎や実践のノウハウを学びます。

地域において、自然や施設等を活用して環境教育・学習を実践する方（学校、企業、行政、社会教育施設、NPO等）が対象となります。「子ども達の体験活動を充実させたい。」「環境学習の場に地域創生の視点を組み込みたい。」「自分が話すのは苦手だけど、地域で学びの場を創りたい」という方のご参加も歓迎します。

なお、グループワークを中心とする構成のため、参加動機によってはお断りをさせていただきます。その点、ご了承ください。

## 3 日程と会場および定員

滋賀会場	日時：平成29年8月5日(土) ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース 10:00～17:00 ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 12:30～17:00 会場：ピアザ淡海（滋賀県大津市） 共催：滋賀県
宮城会場	日時：平成29年9月9日(土) ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース 10:00～17:00 ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 12:30～17:00 会場：宮城教育大学（宮城県仙台市青葉区） 共催：宮城教育大学
東京会場	日時：平成29年11月18日(土) ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース 10:00～17:00 ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 12:30～17:00 会場：未定（東京都23区内）※追ってホームページでお知らせいたします。

※ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・ワークショップ、ESD・環境教育プログラム・デザイン・ワークショップは、運営の都合上、同日・同会場で行います。そのため、同一会場で両コースを同時に受講することはできませんので、ご了承ください。

【定員】各コース、定員は50名とさせていただきます。

先着順に受付け、定員になり次第、締め切りとします。

#### 4 研修プログラム ※時間配分等は、変更となる可能性があります。

##### ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース

10:00-10:15	開会／ガイダンス
10:15-12:00	イントロダクション「次世代の環境教育」 ・環境教育の成り立ち、学校教育における歴史的な展開、環境教育等促進法、そしてESDやSDGsとの関連を踏まえながら、環境教育を捉え直します。 ・学校現場における環境教育において、なぜ「カリキュラム・デザイン」が必要となるのかについて、新たな学習指導要領の考え方を踏まえながら説明をするとともに、午後の演習の導入を行います。
12:00-13:00	昼休憩
13:00-16:30	ESD・環境教育カリキュラム・デザイン演習 ・持続可能な社会の担い手育成のために、学校教育においてどのようなカリキュラムをデザインすべきか、その実践的なノウハウについて、グループワーク「ESDカレンダーづくり」等を通じて学びます。
16:30-17:00	振り返り～演習の成果を学校現場で実際にどう生かすか～
17:00	解散

##### ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース

12:30-12:45	開会／ガイダンス
12:45-13:15	イントロダクション「次世代の環境教育」 ・環境教育の成り立ちから、環境教育等促進法、国連ESDの10年等を経て、環境教育の目的等がどう変わってきたか、法的根拠、事例等を交えながら説明をしていきます。
13:15-14:30	講義「学習環境デザイン論」 ・人生において、人は取り巻く環境との相互作用をとおして能動的に学んでいきますが、実は「話す内容」だけでなく、空間・活動・共同体・人工物という観点も、学びを深める重要な要素となります。本講義では、その背景にある科学的な知見等について説明をします。
14:30-14:45	休憩

14:45-16:30	ESD・環境教育プログラム・デザイン・演習 ・地域性を考慮した上で、大人・子どもが主体性に交流し、学びを創出する場を、レゴブロックを使って楽しくデザインをしていきます。地域の資源を「主体的な学びの場」と変えるためのノウハウを学びます。
16:30-17:00	振り返り～演習の成果を実践にどう生かすか～
17:00	解散

## 5 担当講師（※五十音順）

安齋 勇樹 氏 東京大学大学院情報学環 特任助教  
池田 怜司 氏 環境省総合環境政策局環境教育推進室 室長補佐  
石田 好広 氏 目白大学人間学部児童教育学科 教授  
小澤 紀美子 氏 東京学芸大学 名誉教授  
棚橋 乾 氏 東京都多摩市立連光寺小学校 校長  
全国小中学校環境教育研究会 副会長

## 6 申し込み方法

研修事務局のホームページにある「お申込みフォーム」に必要事項をご記入のうえ、送信してください。ホームページは、7月4日（火）に開設予定です。

[http://www.jeef.or.jp/activities/esd\\_teacher/](http://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/)

※オンライン申し込みが出来ない、うまくいかない場合は、

### <FAXによる申し込み>

所定の「申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、研修事務局までFAXにてお申し込みください。

FAX :03-5834-2898

「申込用紙」は研修事務局のホームページからダウンロードができます。

### <申込み期限>

各研修開催日の1週間前まで。

※ 先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。受講の可否については、後日メールにてお知らせいたします。

### <研修受講前の準備について>

事前に資料を作って頂く等の課題を予定しております。詳細については、申込み後に送付する「研修のしおり」をご参照ください。

<その他>

受講料は無料です。

研修会場までの交通費や昼食、宿泊費等は自己負担となります。

お問い合わせ

<研修運営事務局> (公社) 日本環境教育フォーラム内

担 当 小堀、清水

TEL: 03-5834-2897 MAIL: esd-kenshyu@jeef.or.jp

FAX: 03-5834-2898

持続可能な社会の担い手育成に向けて

平成 29 年度

# 教職員・地域環境活動リーダーのための 環境教育実践力強化研修

環境教育は、環境教育等促進法において、持続可能な社会の構築を目指して、家庭、学校、職場、地域のあらゆる場において「未来を創る力」「環境保全のための力」を育むことがその役割であると整理されています。

本研修は、「持続可能な開発のための教育（ESD）」や「持続可能な開発目標（SDGs）」との関連を踏まえつつ、次世代の環境教育（持続可能な社会の担い手を育成する「主体的・対話的で深い学び」）の実践力を養うことを目的とするものです。

1

## ESD・環境教育 カリキュラムデザイン

コース

ESD、SDGs、新学習指導要領など最新のトピックとの関連を踏まえて環境教育を捉え直し、持続可能な社会の担い手育成のため、学校現場で子ども達の「生きる力」を育むカリキュラムをデザインするための実践的なノウハウを学びます。

対象

主として教員の方

環境教育のみならず、人権教育、消費者教育、国際理解教育、キャリア教育、防災教育、森林教育、海洋教育等、学校現場で「持続可能な社会の担い手育成」のための取組を積極的に実践する方を歓迎します。

2

## ESD・環境教育 プログラムデザイン

コース

持続可能な社会の担い手育成に向けて、大人や子どもの主体的な交流や学習を促す「場づくり」のための理論的な基礎や実践のノウハウを学びます。

対象

地域の自然や施設等を活用して  
環境教育・学習を実践する方

「子どもの体験活動を充実させたい。」「学びの場に地方創生等の要素を盛り込ませたい。」「話すのは苦手だけど、地域の学びに貢献したい。」という方も歓迎します。

14 海の豊かさ  
を守ろう

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

4 質の高い教育を  
みんなに

15 陸の豊かさも  
守ろう

11 住み続けられる  
まちづくりを

9 産業と技術革新  
の基盤をつくろう

13 気候変動に  
具体的な対策を

## 日程、会場

研修の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。 [http://www.jeef.or.jp/activities/esd\\_teacher/](http://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/)



	開催日	① ESD・環境教育 カリキュラムデザイン	② ESD・環境教育 プログラムデザイン	会場
<b>滋賀</b>	8月5日(土)	10:00 ~ 17:00	12:30 ~ 17:00	ピアザ淡海 (滋賀県大津市) 
<b>宮城</b>	9月9日(土)			宮城教育大学 (宮城県仙台市) 
<b>東京</b>	11月18日(土)			東京 23 区内 (予定) ※追ってホームページでお知らせいたします。

### ○ 定員

各コース、定員は 50 名 (先着順に受付け、定員になり次第締め切り)

## 担当講師

安 斎 勇 樹 東京大学大学院情報学環 特任助教

池 田 怜 司 環境省総合環境政策局環境経済課 環境教育推進室長補佐

石 田 好 広 目白大学人間学部児童教育学科 教授

小澤 紀美子 東京学芸大学 名誉教授

棚 橋 乾 東京都多摩市立連光寺小学校 校長

## お申込方法

### ○ オンライン申し込み

研修事務局のホームページにある「お申込みフォーム」

に必要事項をご記入のうえ、送信してください。

[http://www.jeef.or.jp/activities/esd\\_teacher/](http://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/)



### ○ 申込み期限

各研修開催日の 1 週間前まで

※先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。受講目的が研修の趣旨に合わない判断した場合は、参加をお断りさせていただきます。

### ○ その他

受講料は無料です。

研修会場までの交通費や昼食、宿泊費等は自己負担をお願いします。

## お問合わせ先

研修会事務局 (公益社団法人 日本環境教育フォーラム内)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル 1 階

TEL: 03-5834-2897 FAX: 03-5834-2898 (担当: 小堀、清水)